

## ◆ 今週のコメント

- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が3例(全て男性, 10歳未満, 20歳代, 70歳代)あります(第47週及び第48週追加分)。平成25年4月に五類感染症に追加されて以降, 昨年は年間15例でしたが, 本年の累積報告数はすでに36例にのぼっており, 5歳未満の小児と60歳以上の高齢者に多く発症しています。特に高齢者では, インフルエンザ等に感染した後は肺炎にかかりやすく重症になりやすいため, インフルエンザワクチンと並んで肺炎球菌ワクチンによる予防が重要となります。
- ・ RSウイルス感染症の定点当たり報告数は1.56(64例)で, 第46週(11月10日～11月16日)以降, 4週連続で増加しており, 過去5年平均値を大きく上回っています。全国的にも患者報告数が急増しており, 「感染症法」において定点把握対象に指定された平成16年以降, 過去最多の報告数となっています。なお, RSウイルス感染症に注意報・警報レベル基準値は設定されていません。  
小児の集団生活施設である保育所, 幼稚園等においては, 保護者や職員を含めた手指衛生の徹底やマスクの着用など, 感染を拡大させないための注意が必要です。

## ◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

インフルエンザの定点当たり報告数は1.76(120例)となり, 前週 0.63(43例)に比べ約2.8倍に増加し, 流行の指標である1.00を上回りました。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- ・ 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 35例】
- ・ 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 3例(第47週及び第48週追加分)【1月以降の累積報告数 36例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

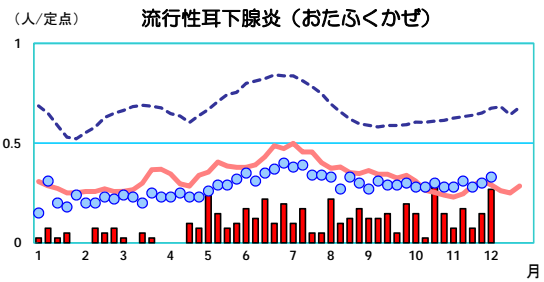
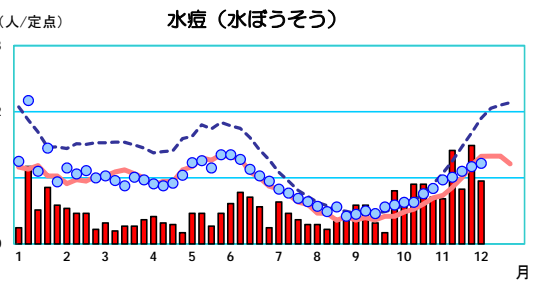
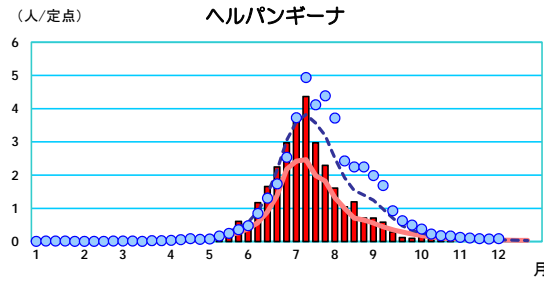
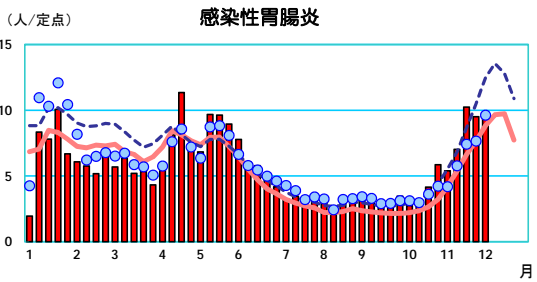
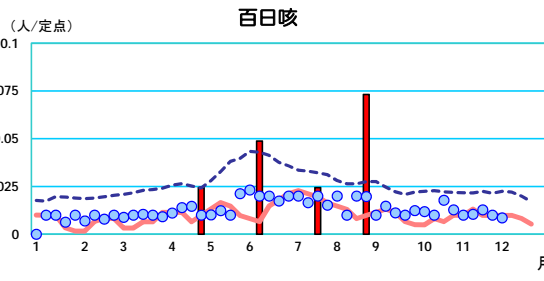
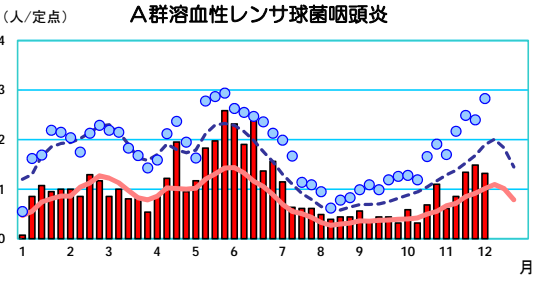
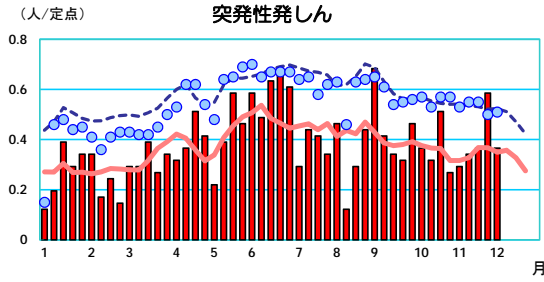
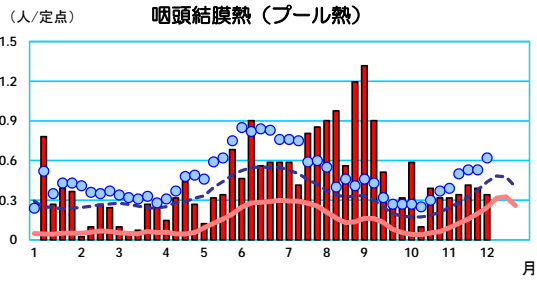
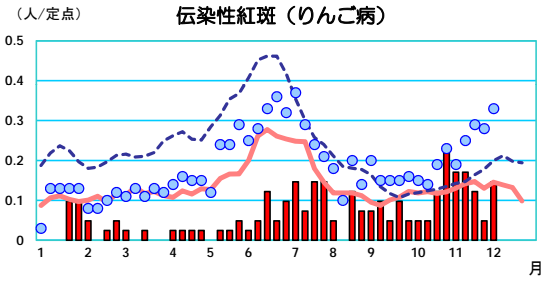
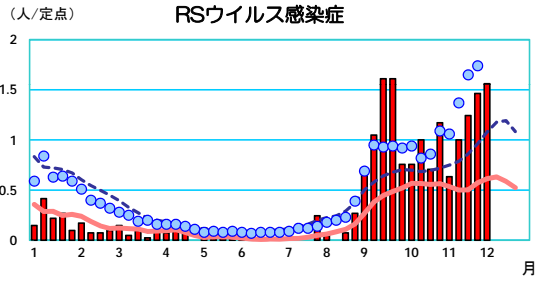
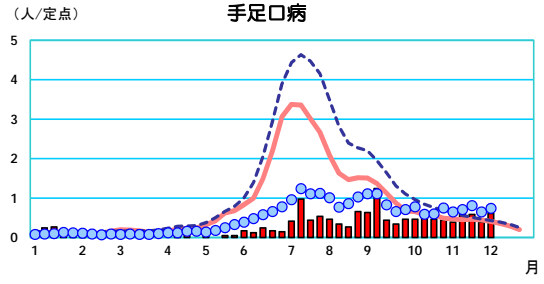
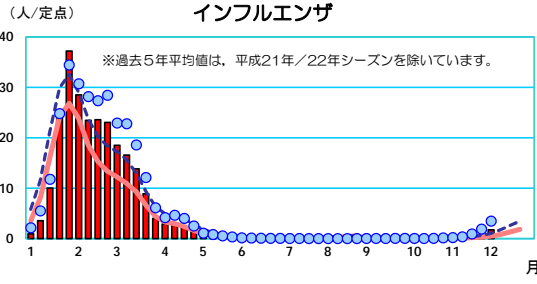
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	1.76	120
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	9.80	402
	② RSウイルス感染症	1.56	64
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.32	54
	④ 水痘	0.95	39
	⑤ 手足口病	0.61	25
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>  
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 平成26年12月11日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成26年）



# 第49週(12月1日～12月7日)トピックス: <インフルエンザ>

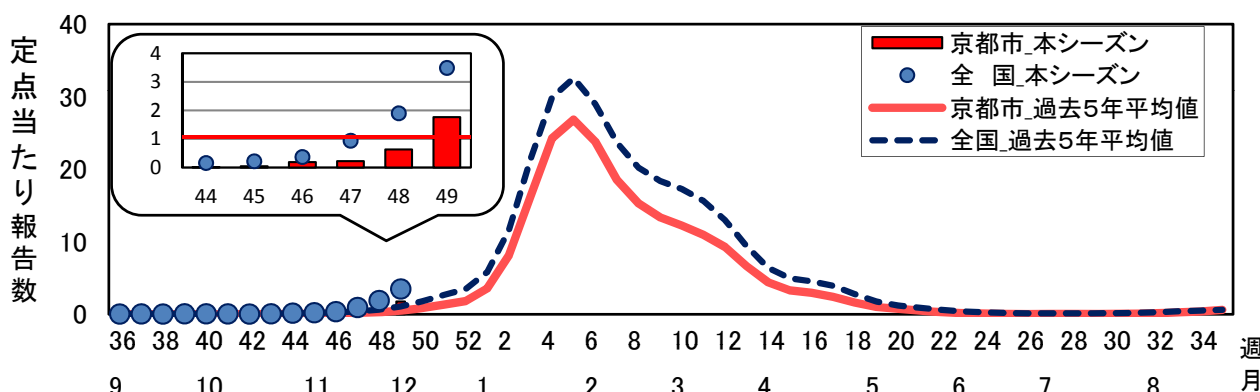
インフルエンザの定点当たり報告数は1.76(120例)となり、前週 0.63(43例)に比べ約2.8倍に増加し、流行の指標である1.00を上回りました。昨シーズンよりも3週間早い流行期入りです。また、京都府を含む37の都道府県で1.00を上回っています。全国においては、すでに第48週(11月24日～11月30日)に1.00を越えており、流行期に入っています。

京都市の過去5シーズンのデータを見ると、定点当たり報告数が1.00を超えたのち、4～6週間で流行ピークを迎えています。今後、急速に増加することも予想されますので、発生動向に注意してください。

インフルエンザは、例年、1月～2月頃に流行のピークを迎えます。感染をひろげないために、以下の点を心がけてください。

- ①手洗いが最も大切です。外出後や、せき・くしゃみなどを手で押さえたときは、すぐに手を洗いましょう。
- ②ウイルスを寄せ付けないように、不要不急のときは、なるべく人混みや繁華街への外出を控えましょう。
- ③せき・くしゃみなどの症状があるときは、マスクをしましょう(せきやくしゃみなどで、ウイルスが2～3m飛ぶと言われています)。
- ④マスクがないときは、なるべく周りの人から顔を背け、ティッシュやハンカチなどで、口と鼻を覆いましょう。汚れたティッシュは、すぐに、ゴミ箱に捨てましょう。

本市及び全国の定点当たり報告数の推移



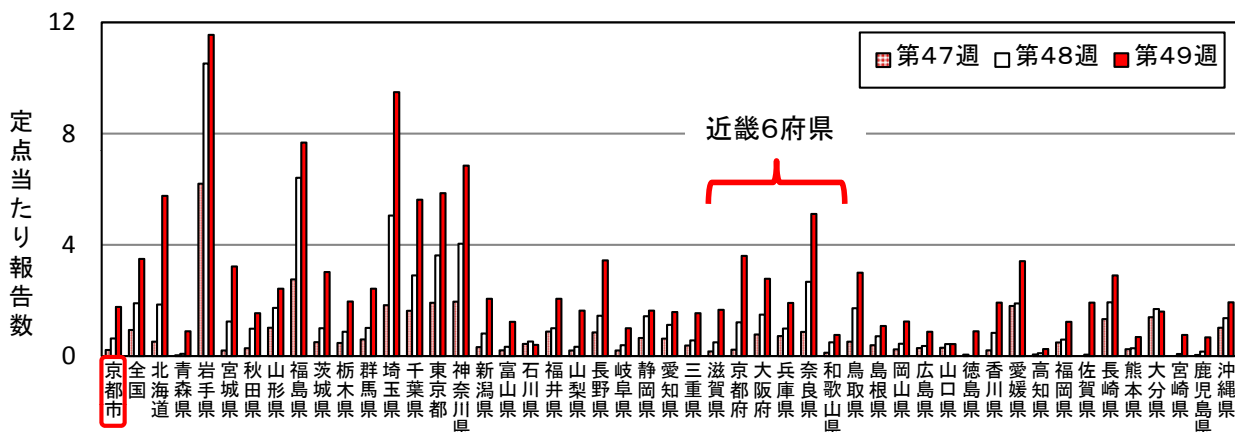
※平成21年/22年シーズンは、インフルエンザ(H1N1)2009の影響で、例年と流行傾向が大きく異なるため、過去5年平均値の算出には使用していません。

過去5シーズンの定点当たり報告数1.00超の週からピークの週までの期間

シーズン	H20/H21	H22/H23	H23/H24	H24/H25	H25/H26	H26/H27
1.00超の週	第50週	第50週	第51週	第1週	第52週	第49週
ピークの週	第4週	第4週	第5週	第5週	第5週	
ピーク時定点当たり報告数	27.51	20.73	38.89	31.22	37.19	
1.00超～ピークの期間	6週間	6週間	6週間	4週間	5週間	

※平成21年/22年シーズンは、インフルエンザ(H1N1)2009の影響で、例年と流行傾向が大きく異なるため、記載していません。

都道府県別定点当たり報告数の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成26年第49週

疾病,行政区別報告数

平成26年12月1日～平成26年12月7日

データ入手日:平成26年12月11日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	13	3	-	1	14	-	-	2	-	-	-	-	-	-						
上京	7	7	-	2	8	-	4	-	3	-	-	1	-	-						
左京	22	7	4	6	66	10	-	2	1	-	-	-	-	-						
中京	9	4	-	3	21	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	10	4	-	-	23	3	-	-	2	-	-	1								
山科	15	5	1	1	7	7	1	-	1	-	-	1	-	-						
下京	5	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-								
南	24	3	-	3	48	6	-	-	-	-	-	-								
右京	3	14	7	9	72	3	7	-	2	-	-	4	-	1						
伏見	6	11	2	5	81	4	11	-	4	-	-	4	-	-						
西京	6	6	-	24	61	6	1	2	1	-	-	-	-	-						
京都市計	120	64	14	54	402	39	25	6	15	-	-	11	-	1	-	-	-	-	-	-

性,疾病,保健所別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	1.86	0.75	-	0.25	3.50	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-						
上京	1.40	2.33	-	0.67	2.67	-	1.33	-	1.00	-	-	0.33	-	-						
左京	3.14	1.75	1.00	1.50	16.50	2.50	-	0.50	0.25	-	-	-	-	-						
中京	1.80	1.33	-	1.00	7.00	-	0.33	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	3.33	2.00	-	-	11.50	1.50	-	-	1.00	-	-	0.50								
山科	2.14	1.25	0.25	0.25	1.75	1.75	0.25	-	0.25	-	-	0.25	-	-						
下京	1.67	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-								
南	4.80	1.00	-	1.00	16.00	2.00	-	-	-	-	-	-								
右京	0.38	2.80	1.40	1.80	14.40	0.60	1.40	-	0.40	-	-	0.80	-	1.00						
伏見	0.55	1.57	0.29	0.71	11.57	0.57	1.57	-	0.57	-	-	0.57	-	-						
西京	0.86	1.50	-	6.00	15.25	1.50	0.25	0.50	0.25	-	-	-	-	-						
京都市計	1.76	1.56	0.34	1.32	9.80	0.95	0.61	0.15	0.37	-	-	0.27	-	0.10	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

# 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成26年第49週

年齢階級, 疾病別報告数

平成26年12月1日～平成26年12月7日

データ入手日:平成26年12月11日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	120	-	-	2	-	2	7	12	11	8	9	4	26	3	9	11	11	2	2	1	-
RSウイルス感染症	年齢1	64	13	16	22	8	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	14	1	-	1	2	1	2	2	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	54	-	-	2	2	4	11	4	4	5	7	5	5	2	3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	402	3	19	65	49	41	33	29	28	20	19	14	25	12	45	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢1	39	-	4	9	6	8	1	3	4	1	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	25	-	1	3	7	1	2	4	4	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	6	-	-	-	-	-	-	-	1	3	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	15	-	8	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢3	11	-	-	-	-	-	1	1	-	1	3	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

## 性,年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	1.76	-	-	0.03	-	0.03	0.10	0.18	0.16	0.12	0.13	0.06	0.38	0.04	0.13	0.16	0.16	0.03	0.03	0.01	-
RSウイルス感染症	年齢1	1.56	0.32	0.39	0.54	0.20	0.07	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	0.34	0.02	-	0.02	0.05	0.02	0.05	0.05	0.07	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	1.32	-	-	0.05	0.05	0.10	0.27	0.10	0.10	0.12	0.17	0.12	0.12	0.05	0.07	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	9.80	0.07	0.46	1.59	1.20	1.00	0.80	0.71	0.68	0.49	0.46	0.34	0.61	0.29	1.10	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢1	0.95	-	0.10	0.22	0.15	0.20	0.02	0.07	0.10	0.02	-	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	0.61	-	0.02	0.07	0.17	0.02	0.05	0.10	0.10	0.05	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	0.15	-	-	-	-	-	-	-	0.02	0.07	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	0.37	-	0.20	0.15	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢3	0.27	-	-	-	-	-	0.02	0.02	-	0.02	0.07	0.02	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成26年第49週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成26年12月11日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	1	3	13	15	43	120
RSウイルス感染症	48	26	41	51	60	64
咽頭結膜熱	13	13	14	17	16	14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	45	25	35	55	61	54
感染性胃腸炎	240	221	288	420	390	402
水痘	29	28	58	34	61	39
手足口病	18	16	27	24	16	25
伝染性紅斑	9	7	7	5	2	6
突発性発しん	11	12	14	15	24	15
百日咳	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	-	2	2	1	-
流行性耳下腺炎	6	3	7	3	6	11
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	1	5	2	5	1
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	426	355	511	643	685	751

性,週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	0.01	0.04	0.19	0.22	0.63	1.76
RSウイルス感染症	1.17	0.63	1.00	1.24	1.46	1.56
咽頭結膜熱	0.32	0.32	0.34	0.41	0.39	0.34
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.10	0.61	0.85	1.34	1.49	1.32
感染性胃腸炎	5.85	5.39	7.02	10.24	9.51	9.80
水痘	0.71	0.68	1.41	0.83	1.49	0.95
手足口病	0.44	0.39	0.66	0.59	0.39	0.61
伝染性紅斑	0.22	0.17	0.17	0.12	0.05	0.15
突発性発しん	0.27	0.29	0.34	0.37	0.59	0.37
百日咳	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.02	-	0.05	0.05	0.02	-
流行性耳下腺炎	0.15	0.07	0.17	0.07	0.15	0.27
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.50	0.10	0.50	0.20	0.50	0.10
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	10.76	8.71	12.72	15.69	16.67	17.23

※1 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 オウム病を除く。

※4 病原体がロタウイルスであるものに限る。